

チラシ裏面覚書

これは、チラシの裏に書いた覚え書きを整理したものです。当センターがどういう考えで実務者研修を実施しているのかがわかると思いますので、もし、ほかのところの実務者研修と比較されていましてらぜひご一読下さい。

○ 初任者研修→実務者研修のスキルパス

一部の事業所様・施設様や職員様は、「初任者なんていらない、最初っから実務者を受けしてほしい（受けたい）」とお考えになられています。そのお考えの背景には3側面があると考察しています。

① 研修制度の問題

実務者研修は、現場たたき上げの方が国家資格『介護福祉士』を取るために必要な研修で、おのずと『介護福祉士』の受験要件である実務経験が3年以上の方に多くご受講いただいています。一方で、実務者研修自体は介護経験がない方でも参加することができるように国が作りしました。

② 事業所・施設や介護職員のメリット

実務者研修を修了しますと、訪問介護事業においては「サービス提供責任者」になることができます。初任者研修のみを修了しただけではできないことです。初任者研修に参加するためにお金を払って、そして数年後、介護福祉士を取るために実務者研修にお金をまた払うなら、最初から実務者研修を受けちゃえば時間もお金も節約できます。

③ 研修事業者の問題

研修を開催する側からしたら、比較的安い初任者研修を受けてもらうよりも、高額な実務者研修を受けてもらったほう売上が大きいので、実務者研修を勧めがちになります。

本来なら初任者研修→実務者研修→介護福祉士のように経験年数に応じてスキルアップしていく制度設計なのにもかかわらず、以上の3側面を背景に、初任者研修を受けずに実務者研修を受けるパターンが広まりつつあって、当センターはその状況に危惧しています。

危惧している理由としては、

(1) 研修生への影響

介護経験が少ない／ない方が実務者研修を受ける場合、介護現場のイメージやよくある疾病の状態像が乏しいため、実務者研修の専門的な内容についていけないことがあります。また、研修を開催する事業者としては、実務者研修で基礎的なことから教えることは時間の制約や、ほかの研修生への配慮もあるので、個別指導か研修生の自己学習に依存せざるを得ない状況があり、結果的に多くの研修生に負担がかかります。

さらに、実務者研修を受けたあとに介護職をお辞めになったとしたら「あんなに高いお金

を払って研修を受けたけど全部意味がなくなった。」と後悔することもあるでしょう。

(2) 研修内容の質の低下

介護経験が少ない／ない方がたくさん実務者研修を受けに来たら、開催している研修事業者としては、研修内容のレベルを落とさざるを得ません。そうしないと、研修が進まないからです。一部の研修事業者は、実務者研修のなかで初任者研修で教えることをやっているところもあるそうです。それでは本末転倒ですし、レベルの高い研修生にとってはスキルアップのための研修なのに、学ぶことが少ない研修になってしまいます。

(3) 国家試験『介護福祉士』の受験勉強

実務者研修の内容は、『介護福祉士』の試験内容に共通する部分がとても多いです。実務者研修を受けると、おのずと受験勉強もできるという仕組みになっています。なので、実務者研修を受けるタイミングは『介護福祉士』を受験する直前がベストです。

もし、経験年数が2年以下の方が実務者研修を受けると、実務者研修を修了した後1年以上経過してから試験を受験することになります。その頃には実務者研修で学んだことのほとんどを忘れてしまっていると思いますので、受験勉強を1(いち)から始めなくてはいけなくなるでしょう。仕事や家事、育児をしながら受験するのはかなりハードです。実務者研修を受けながら受験勉強をすることが一番効率が良く、合格率も高い勉強方法です。

以上の理由から、当センターは直近の『介護福祉士』の国家試験を受験するタイミングで実務者研修を受けていただくことを強くお勧め致します。焦らず現場でコツコツ経験を積んでいただき、時期になりましたら実務者研修を受けていただくと良いと思います。事業所様や施設様におかれましても、研修の内容をよくご理解いただき、適切に職員様をお導きいただければと思います。

※詳しくは、試験が開催される年度の3月31日までの介護職員としての従事期間が算定できます。つまり、申し込み時点で3年なくても大丈夫な場合があります。

○ 低額な受講料を目指しています。

当センターの受講料は、可能な限り低額にしています。実務者研修の受講料は全国平均で10万円以上と高額で、介護のお仕事をしている方にとって一度に10万円をポンと出せる人はほとんどいないでしょう。皆さんは低い給料でありながら、介護の仕事に魅力を感じて一生懸命利用者さんに向き合っている方々がほとんどだと思います。そのような頑張っている方に少しでも資格を取る手助けになればと思い、利益を求めず、ギリギリ採算が取れるラインで安い受講料を設定しています。

この研修の大きな支出は人件費(講師)と医療的ケアの器材費用です。人件費は、講師の方と相談をして交渉してきました。また、医療的ケアの器材については、購入しようとする数百万円かかって皆さんの受講料にしわ寄せがきてしまいます。なので、近隣の養成校様に貸出の依頼をしたり、器材レンタル会社を複数比較してできるだけ安い会社を選定して

お借りする方法などを模索してきました。

当センターとしては、現在設定している受講料でさえも高い印象を持っていますので、今後も安く、かつ研修内容の質は向上できるように努力していきます。

ただ一方で、今般の物価高や賃上げなど年々状況が変化してきています。今までなんとか維持していた受講料も今年は値上げせざるを得ませんでした。状況が改善しましたら来年以降も受講料を安くできるように努めますので見守っていただきたいと思います。

○ 大網白里市での開催

当センターはこれまで香取市を中心に研修を実施してきましたが、令和7年度から大網白里市でも研修を開催することと致しました。

その理由は、大網白里市の隣市（東金市）を中心に、広く介護研修を開催してきた事業者様が介護研修をやらなくなったためです。その事業者様と当センターの初任者研修の講師を担当して下さったりと、懇意にさせていただいていました。その影響で、その地域での介護の勉強をする場所が無くなるという死活問題に対して、当センターは「社会福祉法人」であって介護研修のノウハウがありましたので、地域貢献と地域の介護人材の創出・定着のためにお役に立てると思い、香取から車で1時間以上離れた場所で、研修を開催することに致しました。

土地勘のない私たちは様々な方からご指導ご助言をいただきながら、大網白里市にあります『特別養護老人ホーム季美の森』様が施設スペースを研修の会場として活用させていただくことを快くご承諾いただきまして、研修が実施できることになりました。（ありがとうございます！）

一方で私たちは、本来なら地元の事業者が研修を開催することが理想だと考えていますので、研修事業を引き受けて下さる事業者様がいらしたら譲渡するつもりです。講師についても、しばらくは香取から派遣しますが、最終的にはすべて地元の講師が活躍してほしいと思っています。当センターの考えにご賛同いただける施設様や講師の方はぜひご一報いただけると幸いです。

○ 教材へのこだわり

昨年度まで教材は、テキストと問題集を使用していました。今年度からは、紙ベースでの問題集をやめて、オンラインでのe-ラーニングシステムで実施することにしました。外国籍の方のご参加も可能です。

テキストは、中央法規やミネルヴァ書房など様々なテキストを取り寄せて検討しましたが、長寿社会開発センターのテキストが内容的に良質であると判断しました。テキストの判断基準は、まず国家試験の内容に耐えて詳しいこと。加えて、皆さんが今後も介護職員として勤務したときに、業務の助けになる内容であることです。きっと試験に合格した後も、普段の介護業務で疑問に思ったことがあったときにこのテキストは応えてくれるでしょう。

また、実務者研修は研修生が持っている資格に応じて、一部の科目が免除される仕組みがあります。そのため、テキストも科目ごとに細分化されており、免除される科目分のテキストを買わなくてよいのでその分受講料が安くなります。ほかの研修事業者が、持っている資格に応じて受講料を安くしているのはそういう仕組みから来ています。当センターも当初はそのように受講料を設定していましたが、ふと思いました。国家資格『介護福祉士』の受験勉強をするときに、実務者研修のテキストが手元に全巻揃っていないのは不安！！例えば、免除科目の問題でわからない言葉が出た場合、その科目のテキストが手元にないので正しい知識が身につけません。代わりにインターネットなどで調べたり人に聞いたりしますが、それが正しいのか確かめる方法がありません。結論として、受験するためにはテキストが全巻揃っていたほうがいいと考え、全研修生にはテキストを全巻ご購入いただくことにしました。

○ 研修の開始時期について（特に香取会場の場合）

実務者研修の研修期間は法令で6か月間以上（※）と決められていますので、ご受講のタイミングとしては、毎年1月下旬に実施される国家試験『介護福祉士』の試験本番に合わせて7月開講の研修にご参加いただくことがベストだと思います。

例えば、4月開講の実務者研修にご参加いただくと、最短で9月末に研修が終了してしまい、そこから試験がある1月末まで孤独な受験勉強がスタートします。試験本番まで4か月もあれば勉強できる時間が十分に確保できると普通なら考えると思います。しかし、そこに落とし穴があります。実務者研修で学んだ知識を忘れてしまうのと、人は本来勉強をしたくない生き物だと思いますので、時間に余裕があると思うと勉強を先延ばしにしてしまいがちになります。また、逆に受験への不安から参考書や問題集を無駄に買い集めてしまったり、ネットの一问一答で勉強をした気になるという悪循環に陥ってしまいます。

そこで、当センターは一番効率の良い勉強期間を計算して、さらに研修の前後で国家試験対策講座を開催することにしました。仕事・家事・育児をしながら研修を受講し、そのあと受験勉強もしなくてはならない皆さんにとって、時間は貴重で無駄にはできません。なので、必要最低限の時間で集中して勉強できるように、一番効率の良い研修期間を設定し、試験対策も実施します。

※保有資格によっては研修期間を短くすることができますが、スクーリングは指定の期間に受けていただくので結果としてほかの方と同時に修了する形になることが多いです。

○ 研修日と時間について

参集学習（スクーリング）は土日を実施しますので、仕事をしている方でも研修を受けやすいと思います。また、過去の研修生の声に応じて、研修日数を極力減らしました。（その分1日あたりの時間数は増えました。）仕事をしながら研修にご参加いただく皆さんですから「1日でも仕事に穴を開けないようにしたい」「しっかり休みたい」と思うのは当然です

ね。

なお、研修の1日の時間数は長くても、目標の学習レベルに到達したら予定より早く終了することができます。また、医療的ケアについては2日間を予定していますが、1日で終わることも不可能ではありません。研修を早く終わらせるためには事前学習（宿題）がとても重要なので、当日までに教科書を読みこんだり、当センターが出す宿題を皆さんがきちんとやってきていただくことを強くお勧めします。

○ 受講料は誰が負担したほうがいい？

国家試験『介護福祉士』を受験する方にとって、実務者研修の受講料の支払いパターンは大きく分けて3種類に分けることができます。

- ① 身銭を切って支払うパターン
- ② 施設（会社）が負担してくれるパターン
- ③ 貸付制度を利用するパターン です。

①身銭を切って支払うパターンは、高い受講料をご自身のお財布から出していますので、最初は高い受講料分の学べることはたくさん学ぼうとされる方が多いです。ところが、身銭を切られる方の意欲のピークは受講料を支払った直後です。研修を経るにしたがって徐々に意欲は低下していき、受験勉強が大変になると「また来年も受験できるからいいや」という心理状態になりやすいのが特徴です。

②施設（会社）が負担してくれるパターンは、施設が受講料を負担する代わりに勤続2～5年を求めるものが多く、もし途中で辞めたら全額または一部返金しなくてはならない場合がほとんどです。そもそもご自分のお金で受講料を支払っていないので、ほかに比べて受験意欲が低いことが特徴です。ましてや、本人が望んでいないのに「会社から資格を取ってこいと言われたから」という理由で研修を申し込まれる場合は、たとえ勤続や返還の縛りがあったとしても、受験勉強へのモチベーションは上がりにくいでしょう。施設のルールに合格期限がないことがほとんどなので「いつか受かればいいや」という気持ちにもなりやすいです。

③貸付制度を利用するパターンは、上記2つのハイブリッドの方法と言えるでしょう。合格して勤続すれば国が受講料を負担してくれますが、合格しなければ身銭を切る可能性があります。勤続や返還の縛りもあります。この条件があるので、持続的でちょうどいい緊張感をもたらしてくれます。申し込み時点では無料で研修を受けられますので最初の意欲は比較的低いでしょう。しかし、合格しないと身銭を切る可能性がありますので、受験日が近づくにしたがって緊張感は増していきます。3回以内に合格しないと返還しなくてはならないので、1回1回の試験を大切に受験しようという気持ちになります。②施設（会社）が負担してくれるパターンと大きく違うのは、転職の自由があることです。もし、今の職場が嫌になって辞めることになったら、施設に出してもらった受講料を返金しなくてはいけないと思いますが、貸付制度の場合は県内のほかの介護事業所に転職しても勤続年数は力

ウントされますので、返還を求められることはありません。今はどんなに良い職場だと思っ
ていても、急に人間関係が悪化したり、最悪な職場に異動になることもあるでしょう。「介
護の仕事は好きだけど今の職場にはもういられない」と思ったときに、施設が負担してくれ
た受講料を返還しなくてはならない縛りはつらいものがあります。貸付制度なら職場を変
えられますので“好きなままの介護”でいられるかもしれません。

上記の結果『貸付制度を利用するパターン』が最も合格に近い受講料の支払い方だと考え
られます。ぜひ、ご参考にさせていただければと思います。

○ 試験対策講座について

過去の当センターの実務者研修は、中途半端に試験対策を兼ねた内容になっていました。
一方で、直近の試験を受験しない方や自分で勉強できる方にとっては不必要な内容だった
と反省し、令和6年度からは実務者研修のなかでやっていた試験対策を完全に分離して、
『国家試験対策講座』として独立させました。しかし、多くの研修生から「実務者研修を受
ける人は結局介護福祉士を取りたい人が受けるんだから一緒にしちゃったほうがいいの
は?」「仕事をしながら受験勉強するのはすごく大変。研修の一環ということだったら、家
族も職場も理解してもらえるからありがたい。」というお声をいただきました。よって、令
和8年度からは、これまでの『国家試験対策講座』のノウハウを完全に引き継いだ状態で、
実務者研修と合体させることにしました。

『国家試験対策講座』のなかでは、過去問を中心に問題を解き、解説します。

「一人で勉強ができない。」「勉強の仕方がわからない。」「試験といたら、車の免許を取
るとき以来に受けたことがない。」という方が多くいらっしゃいます。当センターはそうい
う方の不安に寄り添いつつ、一緒に勉強していきます。

「できれば一発で合格したい」「来年も同じ勉強の苦しみを味わいたくない」と思うのは
自然だと思います。仕事・家事・育児をしながら勉強される皆さんにはできるだけ無駄を省
きつつ、効率的かつ合理的に受験勉強をする方法を伝授致しますので、当センターの勉強方
法を信じて試験に臨んでいただきたいと思います。

模擬試験はとても大事です。試験前日までにいくら完璧に備えていても、当日にその力が
ちゃんと発揮できなければ合格できません。試験のプレッシャーに負けて本番当日に体調
不良になる方もいらっしゃいます。それは、模擬試験で試験本番の流れや緊張感を体験する
ことで対策することができます。当センターではこれまで実際の試験会場として使用され
ている「幕張メッセ」での開催も予定しています。こんな機会はなかなかないので、ぜひご
参加下さい。